フェニックス西部小通信２月

給食試食会

先月のことになってしまいましたが、保護者の方々にお誘いのお声掛けをして１月２３日（水）に実施しました。

今年の給食週間のテーマは『明治時代から昭和時代にかけて食べられていた給食の一部再現』。当日は「大正１２（西暦１９２３）年」の設定で、メニューは「里芋ご飯、すいとん、小松菜のおひたし」でした。配膳も一緒にしていただき、子供たちにとっては楽しい給食になりました。

体験入学・入学説明会

これも先月のことですが、１月３０日（水）、この春入学予定の６人の子供さん（当日は１名欠席で５人でした）と保護者の皆様をお招きして実施しました。いよいよ学校教育が始まります。いいスタートを切るために、春までに心と体の準備をしておけるよう、校長や担任、養護、事務の各担当からいろいろなお話をしました。その間子供たちは、１・２年生の教室で、１・２年生が企画した活動で、楽しい交流をしました。４月の鏡西部小学校への入学に、期待がふくらみますよう、しっかり励ましてほしいと思います。また、当日は入学後の通学を想定し、一斉下校で、先輩たちの登校班で一緒に歩いて帰りました。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も歩き続けることで心も体も鍛えられます。頑張ってほしいと思います。

なわとび大会

これも、１月の２９日の予定でしたが、インフルエンザが流行し、子供たちの健康状態が思わしくありませんでしたので、２月５日（火）まで延期して実施しました。この日に向けて体育の時間だけでなく、休み時間もお家でも一生懸命練習に励んだ子供もいれば、体調不良で思うように練習できなかった子供もいたでしょうが、それぞれに頑張って、力を発揮してくれました。個人種目ばかりでなく長縄を使って協力して跳ぶ８の字跳びも、どの班もとても上手でした。この3年間でいちばん安心して見ていられたように思いました。まだまだ上手には跳べない低学年に、文句を言わない優しい鏡西部小の先輩たちの姿、好ましい伝統を、今年も見ることができました。